

6月18日(月)に大阪北部で発生した地震により、被害があった地域のみなさまへ、心よりお見舞い申しあげます。

## 「未来へつづく世界」のために、お買い物を通じて私たちができること 誰かの笑顔につながるお買い物



エスティージーズ

エシカル消費とSDGs (持続可能な開発目標)

エシカル(Ethical)とは、直訳すると「倫理的」という意味です。生協では地域や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」と表現し、積極的に応援しています。実はこの「エシカルなお買い物」(エシカル消費)は、世界の「これから」について大きな役割を担っているのです。未来へつづく世界の実現のために私たちは何ができるか、改めて考えてみませんか？

### エスティージーズ SDGsってなに？

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称で「エスティージーズ」と読み、日本語では「持続可能な開発目標」と表現されます。

2015年9月国連において「今、全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、これは発展途上国・先進国に関わらず、世界中全ての人々が目指すべきゴールです。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、今現在世界で生きる人々だけでなく、何世代も先の人々が、この地球で人間らしく生活し続けられるために必要な17の目標が掲げられています。

### SDGsの17の目標

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任 つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう

### エスティージーズ SDGsとエシカル消費の関係

SDGsは世界が目指す「目標」ですが、それに対して「エシカル消費」とは、消費者がその目標を実現するための「手段」であり、担う「責任」でもあります。

では、なぜエシカル消費はSDGsの実現のために必要な手段なのでしょう？ エシカル消費がひろがり、多くの消費者が「地域や環境、社会や人々のことを考えた商品を選びたい」と強く願うようになった時、自ずと商品をつくる側は消費者のそういった声にこたえるために、エシカルを意識した商品づくりをすることになります。

商品をつくる側がその責任をはたし、また消費者はそれを後押ししながら自分のくらしを見つめ直す、そんな好循環がうまれた時、世界は変わり「未来につづく(=持続可能な)社会」ができると期待されています。「誰かの笑顔につながるお買い物」-エシカル消費をえらぶことは、「未来へつづく世界」として、とても大切なことと言えるのです。



### 生協では4つのテーマでエシカル消費に取り組みます！

co-op = コープ商品のエシカル    生協のエシカル    🛒 = エシカル消費    ❤️ = 生協の事業・活動のエシカル

#### 豊かな地域を作り出せたら

co-op 日本の農畜水産業を応援

- ❤️ 見守り
- ❤️ 子育て支援
- ❤️ 産直
- ❤️ 地産地消



#### 地域の環境を守り続けることができたなら

co-op 洗剤環境寄付キャンペーン (寄付金付き商品)

co-op 環境配慮商品

- ❤️ 海や森を守る活動
- ❤️ 責任ある調達
- ❤️ リサイクル・省エネ



#### 公正な社会の仕組みを作り出せたら

co-op フェアトレード

co-op コアノン スマイル スクール プロジェクト(寄付金付き商品)

co-op CO-OP×レッドカップ キャンペーン (寄付金付き商品)

- ❤️ くらしを考える取り組み
- ❤️ 平和の取り組み
- ❤️ 国際支援



#### 人々の「生きる」を支えることができたなら

co-op ピンクリボン運動 (寄付金付き商品)

co-op 障害者ノルディックスキー応援キャンペーン (寄付金付き商品)

- ❤️ 食育
- ❤️ くらしの助け合い活動
- ❤️ 障がい者支援
- ❤️ 被災地支援



よどがわ生協では、6月1回のカタログよりマークにてご案内しています！



### 「笑顔につながるお買い物」

「フェアトレード」「エコマーク」「FSC®」「MSC」「ASC」「マリン・エコラベル・ジャパン」「レインフォレストアライアンス」「CFP」や、期間を決めて取り組む「レッドカップ」「ピンクリボン運動」「スマイルプロジェクト」「洗剤環境寄付キャンペーン」「障害者ノルディックスキー日本チーム応援」など、利用することで社会貢献につながる商品について、マークで表示しています。

みんなのために  
お買い物してみませんか？

